

題字は 県漁連三浦会長

11月号 No. 110

発行所 兵庫県漁業協同組合連合会 123 兵庫区新在家町 308 8 5 発行人 三浦清太郎 編集 拓水編集委員会 発行日 毎月30日 一部10円 昭和40年10月18日 第三種郵便物認可

# 第九回全国漁協 婦人部大会おわる

去る十月二十七、八日の二日間、東京都日本青年館において恒例の全国漁協婦人部大会が開催された。漁協婦人部の活動は年を過って発展向上し、今回も全国から三十八都道府県の婦人部が参加して、かつてない盛況に終ったので、その内容の一部を報告して参考にしてほしい。なお、本県からは畑中会長はじめ十二名の婦人部員が参加し、本年度表彰優良漁協婦人部四十婦人部中、本県からは津屋山港、神戸市西部の両漁協婦人部が受賞した。

○きつりつまった日程 第一日目は全漁連会長、水産庁長官の挨拶から始まり、優良婦人部表彰、講演と、ついで実績発表、二日目は分科会、全体討議から最後の大会決議まできつりつまった日程にもいささかの疲れも見せず、金魚をうずめた二百五十余名の婦人方は最後まで熱心に聴取または討議され、婦人部向上のための強い意思がうかがわれ強く胸を打たれた。

「わたしたち都市にお少、生活の不安定と、他に見られない深刻な悩みの中から、婦人部としても男だにまかしてはいられない、その打開策として、生活改善、貯蓄、子弟の奨学資金、貸出制度、明るい漁村づくり、親類縁者の協力など、わたしたちの漁協婦人部活動」

「わたしたちの漁協婦人部活動」

「わたしたちの漁協婦人部活動」

「わたしたちの漁協婦人部活動」

## 漁協婦人部の歌

霧が晴れゆく 宝の海よ 今日も希望の 陽がのぼる 朝の潮路を 乗りゆく船を 無事を祈って おくひたあとは この手でしつかり ひきうけた 漁村の女性が ひきうけた 波が高鳴る 胸に鳴る 沖のかもめも 楽しく歌う 知恵をそそいで 励ましあって この手でしつかり ひきうけた 漁村の女性で しあわせを

三越左千夫 作詩 小山 清茂 作曲

三、磯の風吹く 緑の小松 ゆれて匂うよ この胸に 夢は大きく、心をあわせ ともに元気に 苦楽をこえて この手で海の子 育てよう 漁村の女性で 育てよう 四、船は大漁の かけ声たかく うたはずんで きた船に みんな集まる 明るい笑顔 空は茜に 浜辺が暮れて この手でもう愛の灯を 漁村の女性で 愛の灯を

強い発表は、参加者に深い感動を与えた。秋のおどりで一息入る。第一日目の会終了後、息づまる大会の緊張をほぐすため、御婦人方にあざむき、秋のおどり、を親賛した。昼間の厳しい表情と打ってかわって、和やかなひととき、御婦人方は満足で、分科会でもまたも熱心に討議。第二日目は本大会の本命ともいえる分科会が四つの会議室にわかれて行なわれ、第一日目の大会とはちがったムードのなか、ひきうけたきくわしての討議は、御婦人方の繊細な意見の交換によって、どの会場も熱気にあふれていた。

## 昭和三十九年度 漁家経済白書 発表さる

このほど農林省統計調査部は、「昭和三十九年度漁家経済白書」を発表した。これによると昭和三十九年の漁家所得は前年比一〇・二〇%増加し、家計費も一〇・〇%前後増加した。漁業生産でも「無動力」以外各階層とも前年を上回ったが、特に小型定置の六五%増とノリの五五%増が著しかった。白書概要次のとおり。

### 一、漁家所得とその構成

昭和三十九年の漁家の総所得を階層別に前年と比較すると「三十五トン」がわずかながら減少したほかは「一〇・二〇%」の増加をみせた。最も増加したのは「五〇一〇トン」で「かき」が「一〇・二〇%」の増加をみせた。これに次ぐ「かき」が「一〇・二〇%」の増加をみせた。最も増加したのは「五〇一〇トン」で「かき」が「一〇・二〇%」の増加をみせた。

### 二、家計費と経済余剰

昭和三十九年の漁家の家計費は前年比一〇・〇%前後増加した。漁業所得が漁家の総所得中に占める割合は「無動力」の二割台、「小型定置」が「かき」が五割台、動力船は「かき」が「一〇・二〇%」の増加をみせた。最も増加したのは「五〇一〇トン」で「かき」が「一〇・二〇%」の増加をみせた。

### 昭和40年度漁協職員研修会

日時	11月25日 (木曜日) 午前10時30分 11月26日 (金曜日) 午前9時30分
場所	水産会館 4階大会議室
主催者	兵庫県漁業協同組合連合会 兵庫県信用漁業協同組合連合会 農林中央金庫
講師	25日 公認会計士 梅村先生 26日 農林中央金庫

エンゲル係数は低下し消費水準の向上を示している。なおお農家の全平均は一人当たり家計費九万五千円、エンゲル係数三七%である。漁家の総所得から、家計費、租税公課負担を除いたひいた経済余剰は、全階層とも黒字を示した。最高は前年にひきつづいて「のり」の五五%増である。前年比に増加が著しいのは「かき」「五〇一〇トン」であり「小型定置」「三十五トン」は減少した。

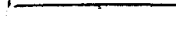
### 三、漁業生産

漁業所得は無動力船を除いて各階層とも前年を上回ったが、とくに「小型定置」の六五%増、「のり」の五五%増が著しい。「のり」は「かき」は三九%増、「のり」は三月の一年間、前年三〇%前後増加した「三十五トン」は本年は二一%増にとどまり、「三十三トン」は前年の一三%増から本年は三三%増と上昇した。漁獲数量では「のり」が増加したほかは停滞ないし若干減少している。しかし「三十五トン」は従業者数は若干減少したが労働時間と漁獲回数が増加して、

「のり」は前年より一〇%前後増加した。世帯員数は四%以上の増減をみせているから、一人当たり家計費も同様な傾向である。一人当たり家計費が大きいのは「のり」の三二%、次に「五〇一〇トン」で「かき」が「一〇・二〇%」の増加をみせた。最も増加したのは「五〇一〇トン」で「かき」が「一〇・二〇%」の増加をみせた。

### 漁協職員研修会要領

対象	議題	担当者	日時	場所	資料
漁協職員研修会 (25日)	(1)漁協運営事務取扱いについて (2)漁協税務について	県産課組合係 講師 梅村先生 (公認会計士)	S40.11.25 10.30~11.15 ① (11時間) 11.15~12.30 13.15~16.30	水産会館 大会議室	テキスト (主催側にて用意)
同上 (26日)	(1)手形、小切手、統制手形用紙	農林中央金庫 (予定)	S40.11.26 9.30~16.00	同上	同上



# 今年のイワシ漁況 (第六報)

## (1) 十月の海況

大阪湾、播磨灘とも十月の漁獲量は、前月の結果では今年四月以降と同様、ごく少量で、秋の産卵盛期も終わったものと推定される。

播磨灘にやや密着な産卵域が認められたが、十月下旬は小羽群が大阪湾に入り、大羽群が播磨灘に入り、中旬には二十一度C台となり、水温の低下は少し早い模様で、十一月下旬には二十度C以下になると推定される。

一方、塩釜は九月中の台風による降水量多く(明石五二〇mm)、河川水の両海域への流入勢力が九月下旬まで強かったため、特に播磨灘では再び七月上旬と同様に水温が低下している。しかしこのためプランクトン量は急増傾向を示している。

## (2) カタクチイワシの産卵状況

九月月上旬には、大阪湾、播磨灘にやや密着な産卵域が認められたが、十月下旬は小羽群が大阪湾に入り、大羽群が播磨灘に入り、中旬には二十一度C台となり、水温の低下は少し早い模様で、十一月下旬には二十度C以下になると推定される。

一方、塩釜は九月中の台風による降水量多く(明石五二〇mm)、河川水の両海域への流入勢力が九月下旬まで強かったため、特に播磨灘では再び七月上旬と同様に水温が低下している。しかしこのためプランクトン量は急増傾向を示している。

## (3) カタクチ魚群の出現状況

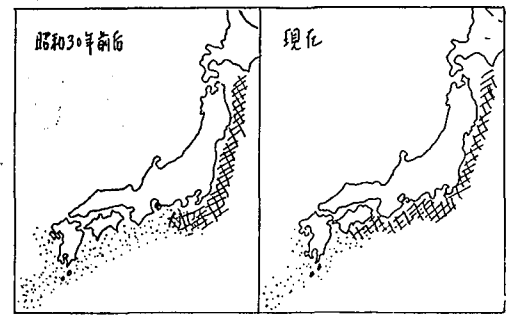
西海域におけるカタクチイワシは、今春の低温が大きく影響して八月まで魚群が少なく、安定した魚物の形成がみられなかった。

九月には、二度の台風通過があり、海況急変による新しい魚群(南部海域からの)来遊が期待された。

## (4) 今後の見通し

昭和三十六年以降、特に冬春期に異常寒冷現象のみならず昭和三十八年のカタクチイワシの資源量は減少傾向を示している。これは海況の長期変動とも相まって、太平洋沿岸の表層性魚種の組成の変化によるものが大きいと推定される。

播磨灘に連日大群の捕獲量の減少にみられる。この二・三年の傾向は魚種組成では幾分異なっているが昭和十年頃と似た海況変化である。最近のカタクチイワシの増大期とみられる昭和二十五・三十五年のころと、最近のサバ類の太平洋沿岸域における生棲域を巨視的に示す点図のようになる。すなわち、増大期に出現していたのは主として南方系のゴマサバで、紀伊水道や大阪湾に現れたものは体長十二〜十四cmの小型のものであり、更に出現期も五〜八月の間であったが、昭和三十一年以降は北方系のマサバに変わり、魚体も今年の場合には二十五〜三十cmに達する中サバであり、出現期も四〜九月の長期間にあつた。



太平洋沿岸域におけるサバの生棲域の变化

紀伊水道南部の黒潮流域からのまとまった魚群の来遊は期待できない。播磨灘でもカタクチ魚群に大きな影響を与えたものと推定される。

雨来遊の長期予報(九月中旬)では、このマサバも十月以降の捕獲量が減少し、すべに全域が水温下降期に入り、外海より対称となるが、従来までの内海の方が、水温下降の速秋産卵期より短期間に産卵の度早いので、今後南部が模様である。(浜田)

## 夢よもう一度

「ばか貝の大発生を期待して」

淡路島の漁業は、今秋の最盛期である。四月から始まったあさり漁は例年になく豊漁で、これに従事する老漁夫喜ばしく、か貝の発生は口にも出さぬ。しかし、今年こそは、今年だめなら来年の冬は、という状態になりかけている。

淡路島周辺におけるばか貝の産卵期は、五〜六月、水温十九度前後で水深七〜八メートルの砂泥地、多少淡水の注入のあるところ、棲息地は砂質の軟かい一尺位潜入できる砂層の厚い所である。

## 海中の光

太陽から海面に達する光は太陽から直接来る光と、水中のごみ等に当たって散乱される光があつて、その割合は大体同じ位である。海面に達した光線のうち、海面に垂直な光線は水中に最も深く入って海中で散乱する。従つて海中に多い、プランクトンなどの少ない、シラノクシなどの少ない、きれいな海ほど青色が濃い。即ち外海の沖合に行く程青色が濃く澄んだら、反対に沿岸や

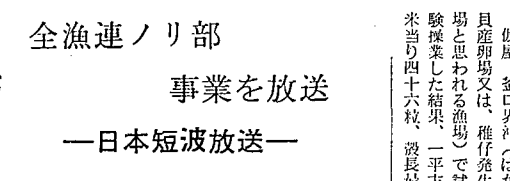
## 全漁連ノリ部事業を放送

「日本短波放送」

去年から今年の淡路島の沿岸は、例年と違ってあじもりの繁漁が多く、附近は浮遊物羅列ロード(モナス)が多いこと、水温は一度から五度低いことの特徴がみられる。今、生種が捕地先には、まばらではあるが、比較的密集がみられ、比較的密集がみられる。ばか貝の棲息がみられる。これらは場所によって異なるが、養殖発生場と発生場は、比較的密集がみられ、比較的密集がみられる。その分布は水平的に広がる傾向を示している。

## 蛸の国

このたび、タコのごときは全国的にも御造詣の深い、神戸市立須磨水族館館長の井上善平氏が、実に判りやすく、面白く記された「蛸の国」なる新書が神戸新聞社から出版されました。なんと、タコには深淵の深い本泉の漁業関係のみならず、是非一読をおすすめします。内容は同書目次をもって紹介させていただきます。



蛸の国 新書版・本文224P・図版多数

全漁連は、本部新設に伴い、一般消費者のノリ需要を増大するため、各種宣伝活動を、強力に押し進めることにしている。その一環として十一月四日から十二月二十三日までの毎週木曜日にラジオ番組「漁協の時間」で全漁連ノリ部の事業内容について放送する。三十分間は日本短波放送。放送内容は次のとおり。十一月四日ノリ漁業の現状と将来。

全漁連は、本部新設に伴い、一般消費者のノリ需要を増大するため、各種宣伝活動を、強力に押し進めることにしている。その一環として十一月四日から十二月二十三日までの毎週木曜日にラジオ番組「漁協の時間」で全漁連ノリ部の事業内容について放送する。三十分間は日本短波放送。放送内容は次のとおり。十一月四日ノリ漁業の現状と将来。

お知らせ  
 第一面に紹介した全国大会に引き続き同趣旨で県大会を次により開催します。  
 主催 兵庫県漁協本部  
 連合会 連合会  
 後援 兵庫県漁協同組 兵庫県信用漁業協同組合 同組合連合会

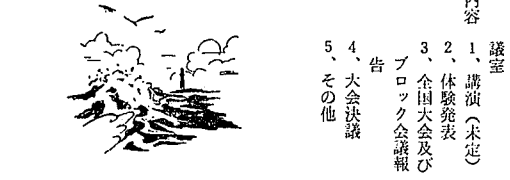
新書「蛸の国」

このたび、タコのごときは全国的にも御造詣の深い、神戸市立須磨水族館館長の井上善平氏が、実に判りやすく、面白く記された「蛸の国」なる新書が神戸新聞社から出版されました。なんと、タコには深淵の深い本泉の漁業関係のみならず、是非一読をおすすめします。内容は同書目次をもって紹介させていただきます。

第一章 蛸の国について  
 第二章 蛸の生物学(一) 蛸の戸籍他  
 第三章 蛸の生物学(二) 蛸の恋愛他  
 第四章 蛸の生物学(三) 食性、忍びの術他  
 第五章 蛸の国  
 第六章 蛸の増殖  
 第七章 蛸の漁業  
 第八章 蛸の食用 外国で蛸を食すること他  
 第九章 蛸の信託と民話  
 第十章 食用に関係のないタコ  
 第十一章 蛸の悲哀  
 御希望の方は県漁連本部まで申込んで下さい。定価は一部四百円です。

及川常務 兵庫県水産改良及協会  
 昭和四十年十一月十九日(金) 一〇・三〇一・六〇  
 (受付は九・三〇)

場所 水産会館四階大会議室  
 1. 講演(未定)  
 2. 体験発表  
 3. 全国大会及びブロック会議報告  
 4. 大会決議  
 5. その他



# 組合長訪問

(8)



東由良漁業協同組合  
組合長 島崎直一

組合長に就任してまだ一からすればまことに純心なただ「実行」あるのみだ

年、組合長一年生の分在な、率直で情熱的だといわ

が、まことにおこがましい一旦自分が責任者の態につ

信の一端を述べさせていた付くのが世の常である。御

御批判を仰ぎたい。世の中のどんな職場でも

長に就任して感じたことは、一「責任」

「責任」といって、責任者の位置記の長年月が経過し、

は阿波も何段も繰り返さずド作りの一端として設立

の心に来る最も販売部門を統轄して行な

「コレハ、パンシワノクの人きらいが台頭してき

「ヤミハ、イヤダスネ、ツキヨミヨトヤ、トンタラ

「近頃は観音様と来た。まさか坊主になるつもりもあ

「これでも読んで見んか又々ほじまった不眠の生

## 近代漁業のあり方

無関心であるという事実も見逃がせない、それは分

「君の所は電話も電話も断線らしい。大阪では君

「毎晩の宿直でやりきれんのか、それは気の毒

「君の所は電話も電話も断線らしい。大阪では君

「これでも読んで見んか又々ほじまった不眠の生

## 思の記

(7)

### 漁村点景

### 風来漁人

本に入った信を袋を担いだのふんいきは今までの孤独

夕方海岸をぶらついて帰途財布に残った金で釣竿と

「コレハ、パンシワノクの人きらいが台頭してき

新鋭機出現  
2周波併記式魚群探知機  
NECの技術を誇る 画期的な漁業用魚探機  
海上電機株式会社  
東京(291)2611-19 電話 東京(291)2611-3 8181-3  
本 東京(39)4301代(33)3706 ビル交換  
社 本神戶営業所

魚に想う

丸山漁協 竹中光城

魚の引辛力

魚の引辛力という、まづい出されるのは群れである。少年の頃交わられた...

魚の引辛力

「絶対引辛力」が各群に必ず一尾ついているんだ」とも...

魚の引辛力

エピソード

十月二十一日

鯉のほり

未来ある子の 秋も深まりつつある今日...

鯉のほり

静かに反省した拓水の新たな陳代謝の為に、この間は...

鯉のほり

その間、暫くの間、拓水の中で...

魚の引辛力

のうちに弱く魚体が小さいため一尾一尾単独行動の場合...

魚の引辛力

「絶対引辛力」が各群に必ず一尾ついているんだ」とも...

魚の引辛力

「絶対引辛力」が各群に必ず一尾ついているんだ」とも...

魚の引辛力

静かに反省した拓水の新たな陳代謝の為に、この間は...

魚の引辛力

静かに反省した拓水の新たな陳代謝の為に、この間は...

魚の引辛力

静かに反省した拓水の新たな陳代謝の為に、この間は...

魚の引辛力

静かに反省した拓水の新たな陳代謝の為に、この間は...

生活必携

週に一度の大掃除 大掃除といふのは、一週間も...

生活必携

大掃除といふのは、一週間も大掃除といふのは、一週間も...

生活必携

大掃除といふのは、一週間も大掃除といふのは、一週間も...

生活必携

大掃除といふのは、一週間も大掃除といふのは、一週間も...

生活必携

大掃除といふのは、一週間も大掃除といふのは、一週間も...

生活必携

大掃除といふのは、一週間も大掃除といふのは、一週間も...

生活必携

大掃除といふのは、一週間も大掃除といふのは、一週間も...

生活必携

大掃除といふのは、一週間も大掃除といふのは、一週間も...

生活必携

大掃除といふのは、一週間も大掃除といふのは、一週間も...

生活必携

大掃除といふのは、一週間も大掃除といふのは、一週間も...

生活必携

大掃除といふのは、一週間も大掃除といふのは、一週間も...

生活必携

大掃除といふのは、一週間も大掃除といふのは、一週間も...

生活必携

大掃除といふのは、一週間も大掃除といふのは、一週間も...

生活必携

大掃除といふのは、一週間も大掃除といふのは、一週間も...

生活必携

大掃除といふのは、一週間も大掃除といふのは、一週間も...

生活必携

大掃除といふのは、一週間も大掃除といふのは、一週間も...

生活必携

大掃除といふのは、一週間も大掃除といふのは、一週間も...

生活必携

大掃除といふのは、一週間も大掃除といふのは、一週間も...

生活必携

大掃除といふのは、一週間も大掃除といふのは、一週間も...

生活必携

大掃除といふのは、一週間も大掃除といふのは、一週間も...

生活必携

大掃除といふのは、一週間も大掃除といふのは、一週間も...



生活必携

大掃除といふのは、一週間も大掃除といふのは、一週間も...

生活必携

大掃除といふのは、一週間も大掃除といふのは、一週間も...

生活必携

大掃除といふのは、一週間も大掃除といふのは、一週間も...

生活必携

大掃除といふのは、一週間も大掃除といふのは、一週間も...

生活必携

大掃除といふのは、一週間も大掃除といふのは、一週間も...

生活必携

大掃除といふのは、一週間も大掃除といふのは、一週間も...

生活必携

大掃除といふのは、一週間も大掃除といふのは、一週間も...

Advertisement for Yanmar Diesel engines, featuring various engine models and their specifications.